

たかおか

特集

キャッシュレス決済なら「JPQR」を活用しよう

メンバーズニュース

- Da friends×ほとり座
- ライフタイムピヨコ

経営相談 税務・労務Q&A

税務●年度の中途で行う役員給与の減額改訂について
 労務●副業を認めるにあたり制限を課すことは可能か

談話室

- テスト勉強と一夜漬けと健康診断

はじまるよ!

藤子・F・不二雄先生のふるさとたかおか

GO! GO!

スマホde
スタンプラリー
2020

9/18金
11/30月

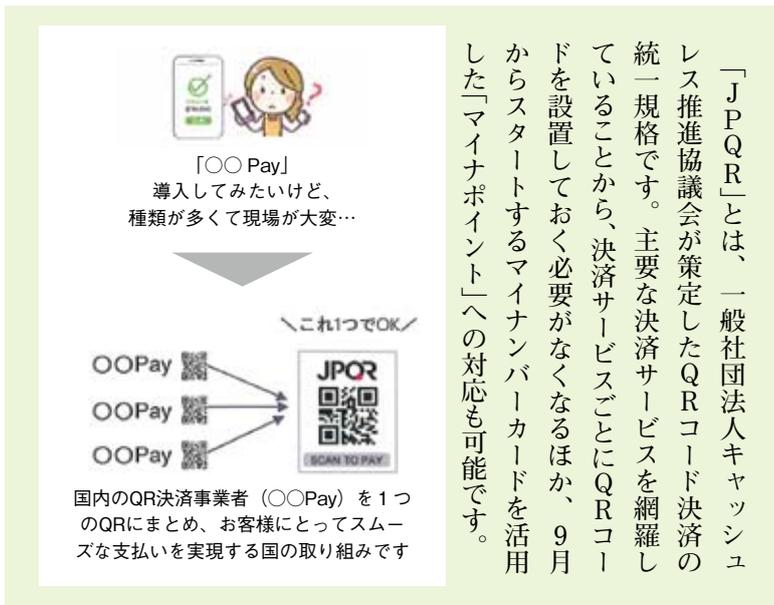



LINE
公式アカウント
友だち追加はこちら!
@takaoka-stamp

9月からスタートするマイナポイント事業にも対応可能！

キャッシュレス決済なら「JPQR」を活用しよう

「JPQR」とは、一般社団法人キャッシュレス推進協議会が策定したQRコード決済の統一規格です。主要な決済サービスを網羅していることから、決済サービスごとにQRコードを設置しておく必要がなくなるほか、9月からスタートするマイナンバーカードを活用した「マイナポイント」への対応も可能です。



JPQRを使った決済の流れ

基本的には、個別のQRコード決済サービスを

利用する場合と同様の流れとなります。まず、会計の際にユーザーが決済アプリを起動し、支払い画面で店頭のQRコードを読み取ります。次にユーザーがアプリ上で支払金額を入力します。最後に店舗スタッフが支払金額を確認し、ユーザーが支払いをタップ、支払い完了画面をお互いがもう一度確認して決済完了です。

「JPQR」導入のメリット

JPQRを導入した場合のメリットは大きく分けて以下の3つです。

①複数の決済サービスへ一括申込可能

本来、店舗がQRコード決済を始める場合、複数の決済サービスにはそれぞれ個別に申し込みなければいけません。しかしJPQRなら複数の決済サービスを一括で簡単に申込みでき、一社一社と手続きする事務負担が軽減されます。

②統一QRコードにより手軽に決済・管理できる

JPQRは一つのQRコードで複数の決済サービスの決済が可能です。店頭に設置するQRコードはひとつにまとめ、従業員による管理や決済

が簡単・スピーディーになります。

③マイナポイントの活用で集客力UP

2020年9月から開始するマイナンバーカードに紐づくキャッシュレスポイント制度「マイナポイント」にも対応しており、集客力UPが期待できます。

マイナポイントとは

マイナンバーカードを使って予約・申込を行い、選んだキャッシュレス決済サービス(※)でチャージやお買い物をする、そのサービスで、ご利用金額の25%分のポイントがもらえるのが「マイナポイント」の仕組みです。(一人あたり5,000円分が上限です)
※QRコード決済や電子マネー(交通系のICカードなど)、クレジットカードなどのことです。

ポイント取得の流れ



なお、複数事業者への申込と読み込むQRコードは統一されますが、各決済事業者の審査や入金タイミング、決済手数料率などは各社で異なります。売上管理についても各社管理画面にて確認となりますが、J P Q R を申し込んだ場合、複数決済事業者の売上をまとめて閲覧できる管理画面も提供予定です(連携可能な決済サービスは随時拡大予定)。各社ごとに異なる決済手数料は、申し込み時にJ P Q R Web受付システムにて確認できます。

J P Q R 申込みの流れ

J P Q R の申込みはWeb上で手続き可能です。一連の流れは、①J P Q R Web受付システムより情報を入力、②申込内容の審査、③スタートキット到着(少なくとも一社の審査に通過した時点で郵送されます)、④初期設定を行い利用開始、となります。

J P Q R は年会費や初期費用は不要です。店舗側が負担する決済手数料については、個別に手続きする場合と同様、利用する決済サービスごとに異なります。決済サービスへの既存加盟店もJ P Q R に統一することが可能ですが、直接契約の場合と比べて決済手数料が変わるケースがある点には留意が必要です。

これからのキャッシュレス決済

キャッシュレス決済は、事業者にとっては人手

不足対策や売上現金の紛失・盗難トラブルの抑止、販売情報の分析、消費者にとっては会計が手軽に行える、現金の引き出しが不要、購買履歴の活用などさまざまなメリットがあります。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からも、人と人との接触の機会を減らすことができるキャッシュレス決済はますます普及していくことが見込まれています。この機会にマイナポイントへの対応も含め、キャッシュレス決済(J P Q R)の導入・積極的な活用をぜひご検討ください。

参考：2020年度 総務省統一QR「J P Q R」普及事業

<https://jpqr-start.jp/>

総務省マイナンバーカードでマイナポイント

<https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/>

【問合せ先】

J P Q R 普及事業コールセンター窓口

☎0120-206-1100

詳細 統一QR「J P Q R」普及事業

Webサイト



キャンペーン期間
9月1日火～
9月30日水

高岡市消費活性化対策 キャッシュレス還元キャンペーン



市内消費を積極的に喚起し、ポストコロナにおける景気浮揚、地域活性化を図ること、電子決済利用を促進して「新しい生活様式」を推進すること、将来のインバウンドや来街者へのサービス向上を図ること、これらを総合的に推進するため、市内店舗でのキャッシュレス決済に対してポイントを還元するキャンペーンを実施します。

■還元対象となる決済手段 PayPay (ペイペイ)

■キャンペーン内容 市内対象店舗での買い物をPayPayで決済された方に、決済金額の最大20%のポイント還元を行います。ただし、1回あたり上限2,000ポイント、1月あたり上限10,000ポイントとします。

■対象店舗 飲食、宿泊、娯楽、小売、交通、サービスなど、PayPayに加盟する市内店舗

【問合せ先】○コールセンター 本部事務局(店舗・利用者双方の相談に対応)

☎076-471-7763 (平日)、0766-54-5777 (土日祝) 9:00～17:00

○相談窓口(対面式、店舗・利用者双方の相談に対応)

場所：御旅屋セリオ5Fルーム2 9:00～17:00



P H O T O

L I B R A R Y



8.6

伝統産業を発信、青年会を取材

北村森氏が高岡伝統産業青年会を取材

商品ジャーナリストで通信制のサイバー大学教授の北村森氏が、今秋創設する新科目「地域おこし実践論」の題材にするため、高岡伝統産業青年会を取材した。工場見学ツアー（クラフツーリズム）や自主制作映画「すず」（YouTubeで視聴可能）など伝統産業の魅力を様々なかたちで発信する同青年会の取り組みについて高岡商工ビルでインタビューを行い、その後、3社の作業場を見学した。北村氏は「いろいろな話ができて良かった。高岡伝統産業青年会の取り組みをもっと知って欲しい」と語った。



7.28

販路開拓セミナーを開催

Withコロナ・Afterコロナにおける
販路開拓事例を学ぶ

事業の基本である売れる仕組みづくりについて学ぶセミナーを、Zoomウェビナーを利用したWEB形式で開催し、24社22名が参加した。講師のグローバルマーケティング㈱代表取締役の今井進太郎氏からは、ECサイトやオンライン商談・オンライン見学会、SNS活用など、コロナ禍におけるニーズの変化を捉えた非対面型ビジネスについて紹介があり、参加者らは変化する時代に求められるマーケティングの事例を学んだ。



8.27

たかおかいっぴんセレクション 審査会を開催

郷土色あふれる品106点が認定を受ける

高岡らしい優れた商品の周知拡大を目的とした「たかおかいっぴんセレクション2020」（前「越中高岡土産品100選」）の審査会を商工ビルで行い、観光産業関係者や専門家ら8名が食品・菓子・工芸品等の3部門に分けられた品の審査を行った。認定された71事業所、106点の商品は、パンフレットを作成し、各観光拠点・宿泊施設・市内企業等に設置する他、同名のホームページに掲載し、県内外に広くPRする。



8.6

能越商工観光懇談会提言要望

国土交通省北陸地方整備局へ
12項目について要望

富山県西部地域と石川県能登地域の商工会議所・商工会8団体で組織し、両地域の経済発展と地域振興を図ることを目的に活動する能越商工観光懇談会は、国土交通省北陸地方整備局に対し、道路・港湾・河川など計12項目について要望を行った。今年会長に就任した当所塩谷会頭は、物流・観光等の経済社会活動復興のための整備予算確保や能越自動車道の未整備区間の早期整備促進、日本海側総合的拠点港である伏木富山港の整備促進などについて要望した。